

帯広厚生病院医誌投稿規程

1. 投稿資格

投稿者は、帯広厚生病院在籍職員または過去に在籍していたものとする。ただし編集委員長からの委託による場合はその限りでない。

2. 投稿内容

投稿の内容は、医学領域に関連する総説、原著、症例報告、短報、Letters to the Editor、資料などで、他誌に発表されていないものに限る。

資料は、各科・各部門の研究報告などとし、その他編集委員長が掲載を許可したのものも含む。

なお、臨床研究に関する論文は1964年のヘルシンキ宣言(以降の改訂を含む)の精神に則ったものでなくてはならない。すなわち、論文の内容が疫学研究あるいは臨床研究の場合は、その研究計画が倫理委員会にて承認を得ているなどすること、ならびに対象者のインフォームド・コンセントが得られていることを要する。また、そのことを本文中に記載し、症例報告の場合は、個人のプライバシーに十分配慮されていること。

3. 執筆様式

投稿論文は、和文または英文とする。論文の長さは、和文において総説12,000字以内、原著10,000字以内、症例報告6,000字以内、短報2,000字以内、Letters to the Editor1,200字以内とする。英文においては、総説6,000語以内、原著5,000語以内、症例報告3,000語以内、短報1,000語以内、Letters to the Editor600語以内とする。上記には題名、要旨、本文、図、表、写真、文献を含むことを基本とし、図・表・写真は1枚につき、原稿400字分(200語分)とする。また図・表は計10点以内とする。和文論文には、和文要旨の他に英文要旨を付けることができる。

	本文字数制限	要旨	英文	英文要旨
総説	12,000字以内あるいは6,000語	500字以内	題名,所属,氏名	300語以内
原著	10,000字以内あるいは5,000語	400字以内	題名,所属,氏名	200語以内
症例報告	6,000字以内あるいは3,000語	400字以内	題名,所属,氏名	200語以内
短報	2,000字以内あるいは1,000語	-	題名,所属,氏名	-
Letters to the Editor	1,200字以内あるいは600語	-	題名,所属,氏名	-
資料	10,000字以内あるいは5,000語	400字以内	題名,所属,氏名	-

原稿の書き方

- ①総説の本文は特に形式を定めませんが、適宜見出しを入れて記述する。
- ②原著の本文は、はじめに、対象および方法、結果、考察、結語の順に記述する。
- ③症例報告の本文は、はじめに、症例、考察、結語の順に記述する。
- ④短報の本文は、はじめに、原著あるいは症例報告に準ずる。
- ⑤資料の本文は特に形式を定めませんが、適宜見出しを入れて記述する。

用語は日本医学会編「日本医学会用語辞典英和・和英」日本医学会医学用語辞典 WEB版: <http://jams.med.or.jp/dic/mdic.html>、日本内科学会編「内科学用語集」に準じて用いること。

和文論文では、表題、著者名、所属機関とともに、表題の英訳、ローマ字綴りの著者名、英文機関名を記し、5つ以内のKey Words(和文および英文)を付けること。

図・表・写真は、写真製版のためそのまま利用できる「汚れない明瞭な原画」を添付すること。写真はjpg、TIFFなどの汎用フォーマットとし、トリミングして1枚当たり、L判(12.7×8.9cm)程度の大きさとし、解像度は350dpi程度、原則白黒とする。画像に矢印や文字を入れる場合、画像に直接埋め込まず、Microsoft社のWordやPowerPointなどの汎用ソフトを用いて作成する。本文中には図1、表1などと挿入箇所を明記する。また図・表・写真ともにそれぞれの説明を和文あるいは英文で加えること。

文献の引用は、論文での引用順に番号を付け、本文中は上付き(例:〜と報告されている¹⁾)で記載し、末尾に引用順に一括する。欧文雑誌名は「Index Medicus」に準ずる。著者名(3名まで(それ以上は“ほか”“et al”)とし省略名にピリオドを打たない)、題名、雑誌名、巻数、頁数(通巻頁の始めと終わり)、発行年の順に記す。単行本の場合は、著者名、書名、発行所、発行地、発行年の順に記す。単行本の1章の場合は、著者名、題名、書名(編者名)、頁数、発行所、発行地、発行年の順とする。ホームページの引用の場合は、著者名:タイトル、発表年、引用元のURL[確認した日付]を記載する。

<例>

- (1)森 益子, 星 友香, 高橋 涉ほか:健康診断の場における禁煙支援介入は喫煙率低下に有効である. 日禁煙会誌 7:103-108, 2012
- (2)Eguchi Y, Hyogo H, Ono M, et al:Prevalence and associated metabolic factors of nonalcoholic fatty liver disease in the general population from 2009 to 2010 in Japan.J Gastroenterol 47:596-595, 2012
- (3)日本消化器病学会編:NAFLD/NASH 診療ガイドライン2014. 南江堂, 東京. 2014
- (4)総務省統計局:統計からみた我が国の高齢者(65歳以上) -「敬老の日」にちなんで. (平成29年9月17日). <http://www.stat.go.jp/data/topics/topi1030.html> [2018.8.13]

4. 投稿様式

原稿と投稿時チェックリストともに電子媒体(USBあるいはCD-ROM, メール等)にて提出すること。

5. 原稿の採択

受理した原稿の採否は査読を経て、編集委員会が決定する。

6. 原稿の校正

校正は初校のみ著者校正とするが、校正に際しては原則として文章の書き換え、図・表・写真の変更は認められない。

7. 別刷り

30部を無料進呈する。さらに希望する場合は事前の申し込みを受け付けるが有料とする。

8. 著作権

論文の内容については、論文の筆頭者が著作者の人格権を代表し、実質的な責任を負う。

また、論文が受理され、本誌に掲載された論文の著作権は帯広厚生病院に委譲される。

9. 利益相反

論文の末尾(文献の前)に利益相反の有無を明記すること。

10. 投稿提出先

帯広厚生病院総務課「帯広厚生病院医誌」編集事務局

平成21年11月5日改訂

平成23年12月5日改訂

平成30年12月25日改訂

令和4年11月11日改訂